

大阪フロイデニュース

# Freude

vol. (9-3) 2026. 6. (Wed)

6/24 (水) 18:30 小田北  
7/1 (水) 18:30 車海  
↑ 予約申込開始  
7/8 (水) 18:30 小田北  
7/11 & 12 は 3 夜に 連続で 演奏

## 来週からチケット申込開始です！

演奏会当日の時間など詳細はこれから詰めていきます、よくお問合せいただく内容については次の通り。

Q. 終演は何時ごろ？

→ A. 演奏の都合で多少前後する可能性はありますが、おおむね 20 時 40 分くらいまでの予定です。

(モーツァルト約 25 分、休憩約 15 分、ハイドン約 45 分、これに出入り時間、アンコールが加わるイメージ)

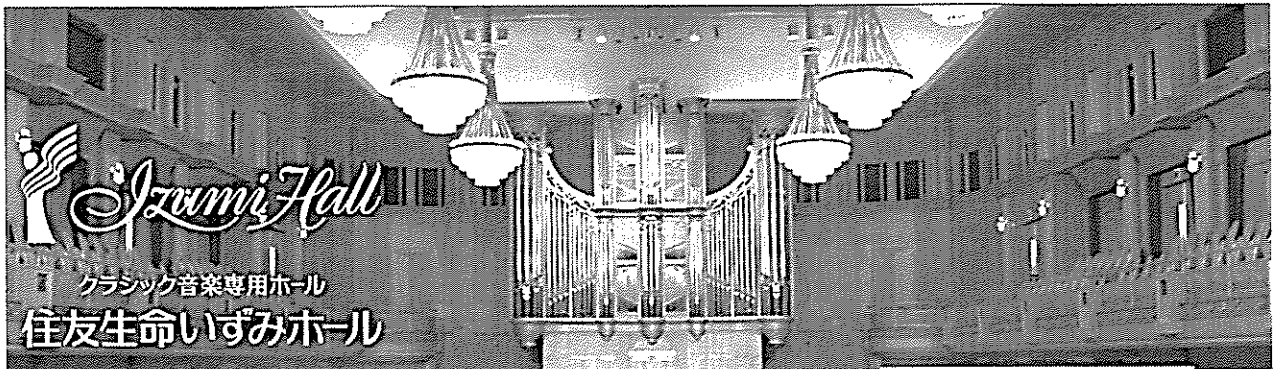
Q. 開演に遅れたら？

→ A. 休憩までロビーでお待ちください。休憩時に着席できます。遅れる際も必ず休憩までには到着ください。

※座席配置に要注意！特に B 席！

このほか、他のホールでは「値段の安い席 = 後ろの方」というトコロが多いようです。そのため、お客様の中には座席表を確認せずに B 席を買って、演奏会が終わった後で「あんなに前と思ってなかった！後ろがよかったのに！」とクレームをおっしゃる方が、まれにいらっしゃいます。

お客様へはできるだけ座席表を示す、特に B 席希望のお客様へは、B 席の範囲を事前にお伝えください。



住友生命いずみホールは、1990 年 4 月にオープン。(ちなみにザ・シンフォニーホールは 1982 年)

お手本は、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の本拠地「ウィーン楽友協会大ホール」。

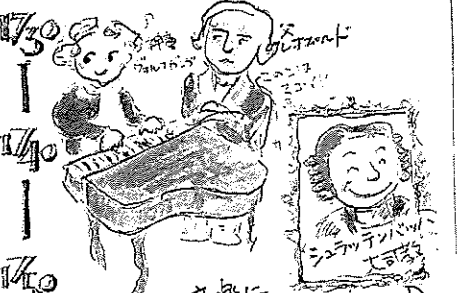
シューボックス型で 821 席のコンサートホールです。天井や壁のデザインをはじめ、床、椅子、さらに 8 基のシャンデリアなどの緻密に計算された音響効果により、「楽器の集合体」に包み込まれるような空間を実現しました。残響時間はクラシックの室内楽にふさわしい 1.8 秒～2 秒。

互いの息遣いさえ感じられるステージと客席の一体感は、世界的なアーティストにも愛されています。

- 形状 シューボックスタイプ (巾 20.5m / 奥行 35.5m / 高さ 14.75m)
- 客席数 821 席 ● 残響時間 1.8～2.0 秒 (音響設計 = 日建設計 / ヤマハ音響研究所)
- 設計 日建設計・大阪 ● シャンデリア 石井幹子 ● 内装仕上材 北海道産ナラ材



Hydon 1730  
 1732年  
 ローラク  
 車大工の家  
 8歳  
 ウェンビー  
 聖歌隊  
 17歳  
 流儀の  
 修業時代  
 29歳  
 アベニエール  
 エステルージ  
 ニコラス一世  
 仕える。  
 楽長。  
 11歳  
 ティン  
 作曲  
 58歳  
 領主文藝の  
 振興  
 イギリスの  
 曲心 62歳  
 エステルージ  
 夫人のため  
 16歳  
 1809年 17歳



Mozart  
 1756年  
 ハレツグの  
 大司教  
 ショプテンの  
 子-オット  
 流儀の  
 修業時代  
 15歳  
 大司教の  
 相性最悪!  
 5歳6月!!  
 25歳 脱出  
 ウェンビー  
 管弦  
 自由音楽!  
 1791年 35歳

音楽に  
 女性理解ある大司教  
 がいた。1772年コロトが  
 大司教に「音楽は考案儀式  
 の単に添いの。早く!」と  
 アリ制限しきまる!!  
 ウェンビーの天才アリ  
 曲に3階載し「まじか」  
 1781年我儘も限界! 脱出!!  
 戴冠式ミサは1791年  
 脱出を企てる頃。宝石!

**戴冠式ミサ**

# ハイルモニ-ミサ

「ハイルモニ-ミサ」は、ハイルモニ-の再雇用。  
 いよいよ「オヒマを出した」エステルージ家の再雇用。  
 最重要シトは「夫人のためのミサ曲」、ハイルモニ-は「よし  
 めおアエのん作らさむ」と1796年~1802年は全6曲書きた。  
 ハイルモニ-ミサはその終曲。ハイルモニ-はその後持病悪化で  
 思うよう作曲できず、晩年を過ごす。ハイルモニ-生涯最後の大曲  
 とするこの曲。ハイルモニ-(管楽器)主役の華やかイデ。



2026.10.22 (Thu)  
 住友生命いおみホール  
 ハイルモニ-&モーツァルトの9バ  
 明月元氣の曲! お集りFe!!

主催: 亀井正比古指揮 大阪千代田ホールオーケストラ S 並河美奈 A 福原美枝 T 清水徹太郎 B 田中由也 大阪70行冷器団の:

こんにちは! 演奏会のご案内です。今回は大阪70行「ハイルモニ-後期6大ミサ」シリーズの最終回。22日はコロナ禍、  
 何度も日程変更にも関わらず開催は2020年ネウソミサ。その後2025年までテレビミサ、天地創造ミサ、199ケン  
 ミサ、ハイリヒミサと続々とまわりました。いよいよ「よし」の「コロナ禍の合唱団」を7年かかちて22日23日  
 ハイルモニ-、その日に日暮のキラキラと終りに居られたモーツァルト「モツ・ハイコンヒ」に感謝の心をこめて演奏します。  
 せむ。初秋のいおみホールにお運び下さい。大阪70行のホームページ: Facebook. インスタもぜひご覧ください。